

世界遺産論

第8講 海外の世界文化遺産 (人類の誕生・古代文明にまつわる遺産)

瀬戸 敦子(岐阜女子大学)

第8講 海外の文化遺産 (人類の誕生と古代文明)

【目 的】

- テキスト第3章より「ストーンヘンジ、エイヴベリーの巨石遺跡と関連遺産群」、「ヌビアの遺跡群：アブ・シンベルからフィラエまで」のOUVについて理解する。

【学修到達目標】

- 「ストーンヘンジ、エイヴベリーの巨石遺跡と関連遺産群」の概要と登録内容について説明できる
- 「ヌビアの遺跡群：アブ・シンベルからフィラエまで」の概要と登録内容について説明できる

第8講 海外の文化遺産（人類の誕生・古代文明にまつわる遺産）

テキスト 第3章（p.79～92）

3-1 人類の誕生

アルタミラ洞窟とスペイン北部の旧石器時代洞窟壁画
アワッシュ川下流域

3-2 巨石文明

ストーンヘンジ、エイヴベリーの巨石遺跡と関連遺産群
高敞、和順、江華の支石墓跡

3-3 地中海世界の形成（オリエント）

ペルセポリス
バビロン

3-4 地中海世界の形成（エジプト）

ヌビアの遺跡群：アブ・シンベルからフィラエまで
メンフィスのピラミッド地帯

3-5 地中海世界の形成（ギリシャ）

アテネのアクロポリス

3-6 ローマ帝国

ローマの歴史地区と教皇領、サン・パオロ・フォーリ・レムーラ聖堂

第8講 海外の文化遺産（人類の誕生・古代文明にまつわる遺産）

ストーンヘンジ、エイヴベリーの巨石遺跡と関連遺産群（イギリス・1986年登録）

登録基準 (1) (2) (3)



イギリス南部の平原に残るストーンヘンジの巨石遺跡は、紀元前3100年頃から前1100年にかけて築かれたと言われる。近郊のエイヴベリーと共に**先史時代の文明を物語る貴重な遺構**であるとして1986年に世界文化遺産に登録された。

遺跡群だけでなく、周辺の土地も含めて現在、ナショナルトラスト（民間機関）が管理し、英国の国会遺産として国の所有となっている。



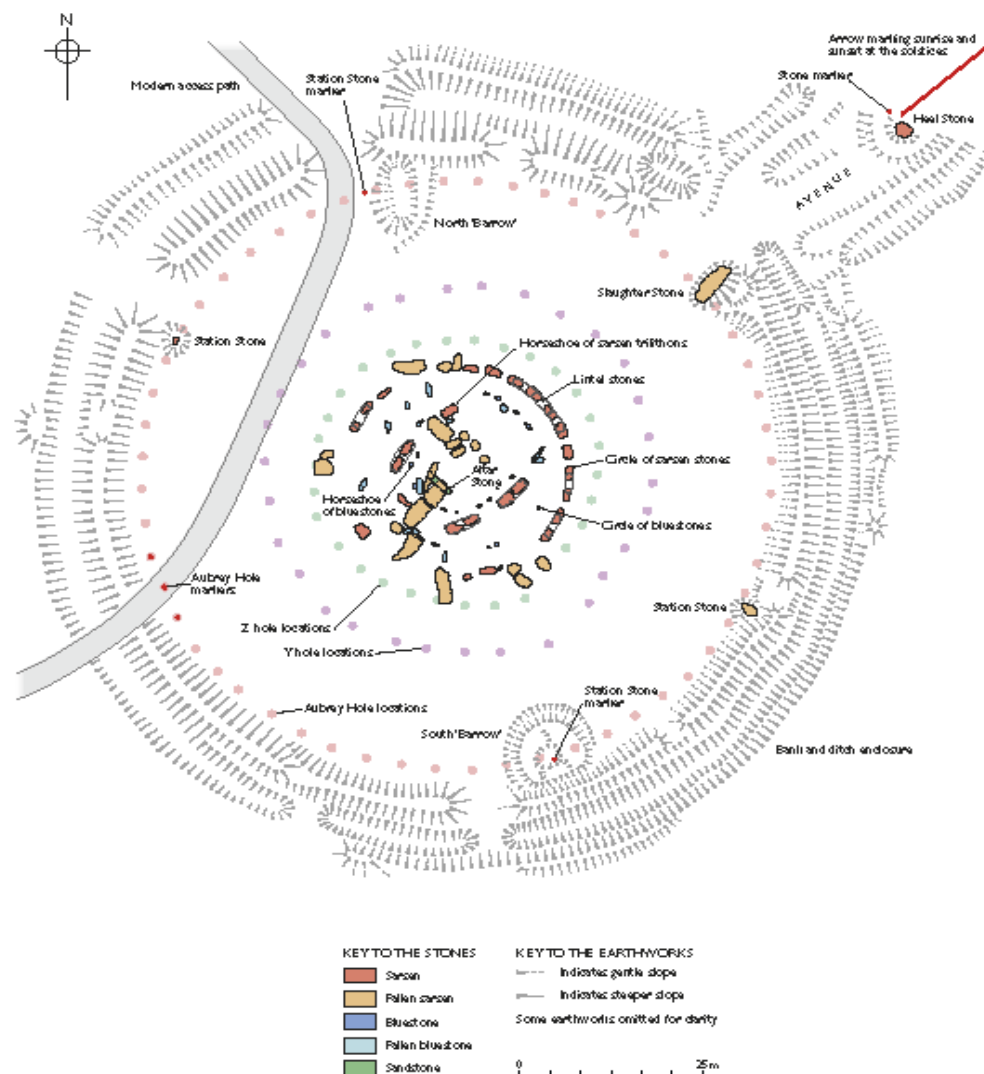
イングリッシュ・ヘリテイジ
イングランドの歴史的建造物を保護する
目的で、英国政府が設立した組織。

ヘンジ (henge) とは
メンヒル（直立石）の上に水平に石を載せて連結させた構造物のこと

補助教材

[Stonehenge | English Heritage \(english-heritage.org.uk\)](https://english-heritage.org.uk)

[Avebury | Wiltshire | National Trust](https://www.nationaltrust.org.uk/avebury)



ストーンヘンジ、エイヴベリーの巨石遺跡と関連遺産群（イギリス・1986年登録）



Q何の為にストーンヘンジは築かれたのか。

夏至の朝には環状列石の外にあるヒールストーン付近の方角から太陽が昇り、トリリトン（三石塔）を馬蹄形に配置されたストーンヘンジの中心部を照らすなど、天文観測所だった説と、**太陽崇拜（先史時代の祭祀）の祭祀**という説がある。しかし、考古学調査には限界があり、その謎が永遠に解けることはないと言われている。

Qいつストーンヘンジは築かれたのか。

第Ⅰ期 紀元前3000年ごろ

直径100mにもおよぶ外周部が出来た時期

第Ⅱ期 紀元前2500年ごろ

ブルー・ストーン30個ほどのメンヒル群が形成された時期

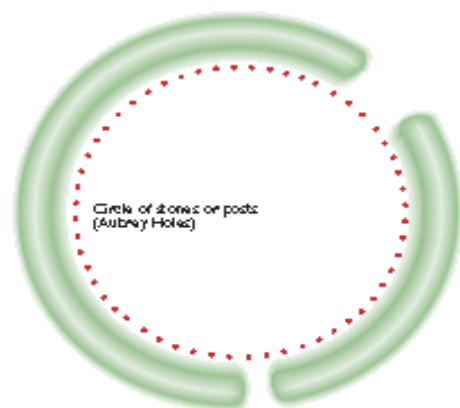
（200kmほど離れたウェールズのプレセリ丘陵で採石？）

第Ⅲ期 紀元前2000～前1100年ごろ

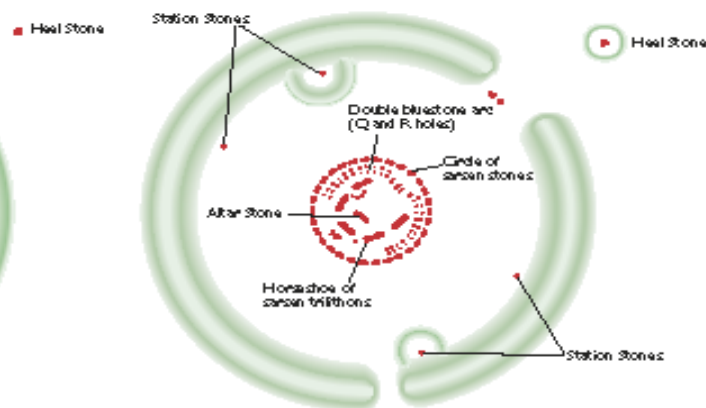
環状列石、その内部の3つの石を門の形に組んだトリリトン5組が馬蹄形に配置された時期

STONEHENGE PHASES

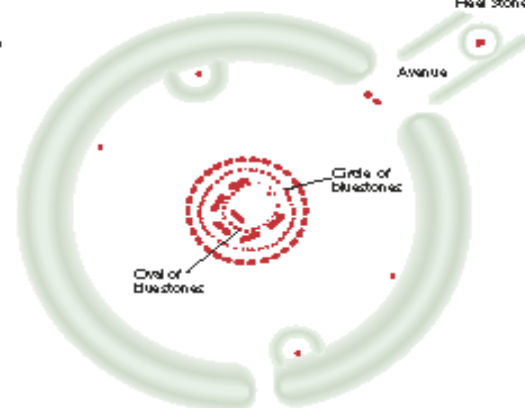
The First Stonehenge c.3000 bc



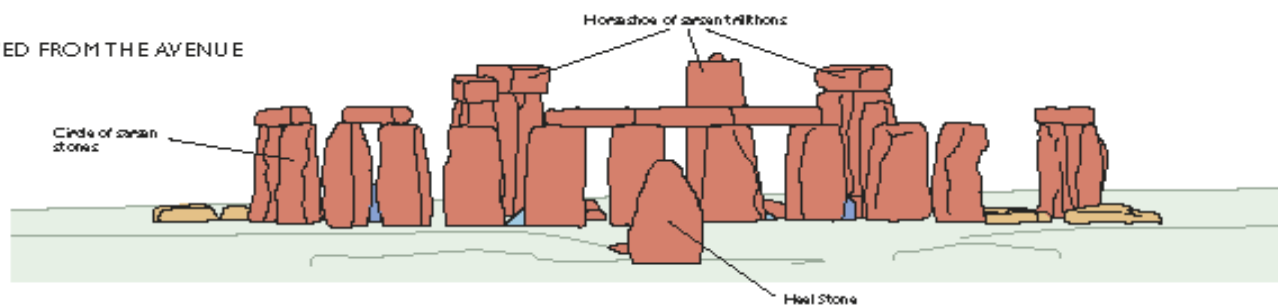
The Stones Arrive c.2500 bc



The Bluestones Rearranged c.2200 bc



THE STONES VIEWED FROM THE AVENUE



This drawing is English Heritage copyright and is supplied for the purposes of private research. It may not be reproduced in any medium without the express written permission of English Heritage. February 2015

第8講 海外の文化遺産（人類の誕生・古代文明にまつわる遺産）

ストーンヘンジ、エイヴベリーの巨石遺跡と関連遺産群（イギリス・1986年登録）

Q 巨大な石をどのように運んだのか。

サーセン・ストーン（砂岩）
ブルー・ストーン（玄武岩）

最大30トン（! ?）

人の手で丸太と縄を使い、陸と水路で運ばれた説（有力説）である。丸太を並べて木製ローラーを作り、その上に巨石を載せて転がせる方法を用いたとされる。

ビジターセンター 2013年オープン （ストーンヘンジから2キロ半離れた場所）



ビジターセンターHPより

ストーンヘンジの謎、巨石をどのように運んだのかパネル展示や実際に体験できるアトラクションが新設

エイヴベリー（ストーンヘンジの北約30km）

ヨーロッパ最大級の環状列石

外周約1.3km、100個のメンヒルが配置されている。

建設時期は、発掘された土器から紀元前3000年期初頭とされ、このような大規模な構造物が作られていたことから、当時のこの一帯は、安定した農業経済が確立していたと考えられている。

補助教材

<https://www.english-heritage.org.uk/visit/places/stonehenge/history-and-stories/building-stonehenge/>



[https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Avebury_\(South_Inner_Circle\)_Wiltshire,_UK_-_Diliff.jpg](https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Avebury_(South_Inner_Circle)_Wiltshire,_UK_-_Diliff.jpg)

第8講 海外の文化遺産（人類の誕生・古代文明にまつわる遺産）

ヌビアの遺跡群：アブ・シンベルからフィラエまで（エジプト・1979年登録）

登録基準 (1) (2) (6)



エジプトの世界遺産3級
①ヌビアの遺跡群
②メンフィスのピラミッド地帯

エジプトの世界遺産2級
（2023年度）
③カイロの歴史地区
④古代都市テーベと墓地遺跡
⑤聖都アブー・メナー
⑥ワディ・アル・ヒタン（鯨の谷）

金をはじめとする鉱物の産地であり、アフリカ奥地との交易の中枢の場所でもあった。そのためエジプトの歴代王は、たびたびヌビアへ出兵し、その結果紀元前1550年頃最終的にエジプトの支配下となった。

第8講 海外の文化遺産（人類の誕生・古代文明にまつわる遺産）

ヌビアの遺跡群：アブ・シンベルからフィラエまで（エジプト・1979年登録）

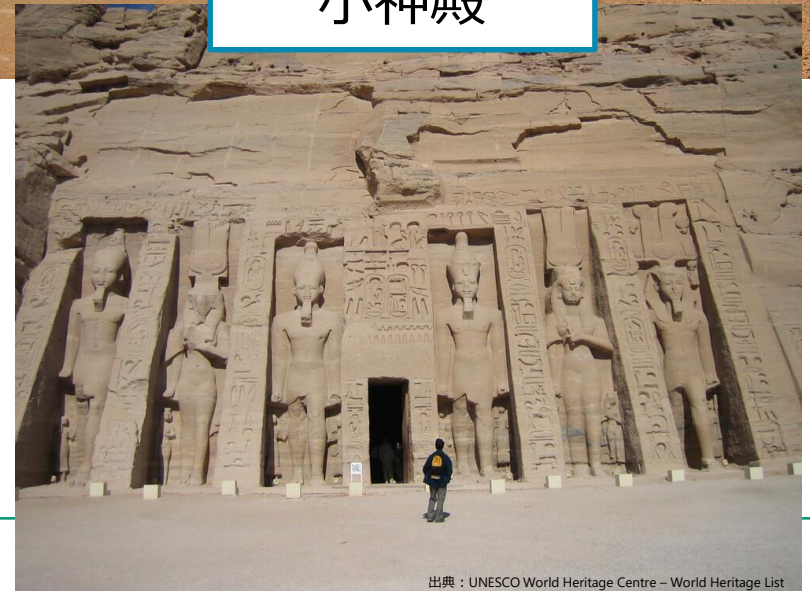
ナイル川にせり出した高い岩山を削ってつくられた洞窟神殿

アブ・シンベル神殿
(大神殿)



紀元前1250年頃 **ラメセス2世**によって建造

小神殿



最愛の王妃 ネフェルタリのために築かれた神殿

出典：UNESCO World Heritage Centre – World Heritage List

第8講 海外の文化遺産（人類の誕生・古代文明にまつわる遺産）

ヌビアの遺跡群：アブ・シンベルからフィラエまで（エジプト・1979年登録）

アブ・シンベル神殿

エジプト第19王朝期の王（在位前1279-前1213頃）

大神殿の四体の像は、**ラメセス2世**（建築王）で、その前に並んでいるのは家族の像である。神殿最奥部（奥行63m）には、太陽神ラー・ホルアクティ、国家神アメン・ラー、メンフィスの守護神プタハ（3神像）、そして神格化されたラメセス2世の像がある。

壁には、神聖化された聖なる船の前で儀式を行う場面が描かれている。

小神殿は、ハトホル神と王妃ネフェルタリに捧げられた神殿。立像が6体（うち4体は王、2体はネフェルタリ。わきには王子と王女を配置）

ベルツォーニ（伊）により発見

秘宝を求め、さまよっていたベルツォーニは、1814年に砂に埋もれた神殿の一部を発見。砂丘にトンネルを掘って、神殿の中に入ることは出来たが、金銀狙いのベルツォーニにとって石像や碑文は興味がなかった。

（その後貴重なラメセス2世の神殿と分かった）

1960年

アスワン・ハイ・ダム建設計画

補助教材

[Nubian Monuments from Abu Simbel to Philae - Videos - UNESCO World Heritage Centre](#)

ユネスコによる救済

1960年、ユネスコは水没の危機にあるヌビア遺跡の救済を全世界に呼びかけ、50カ国が参加する移築救済工事へ発展した。'62年から'63年にかけて始まった移築の方法は、遺跡を小ブロックに解体し、運搬、再建するというものだった。

アブ・シンベル大神殿は1万6000のブロックに解体され、個々のブロックには番号がふられて移築先へ運ばれた。5年の歳月をかけ、'68年に落成式を迎えた。

アスワン・ダムに没し、浸水期間が長かったフィラエのイシス神殿は、石そのものが脆くなっていたため、4万7000ものブロックに解体され、汚泥が除去された後、移築された。しかし、大神殿の経験を生かした工事は2年半で完了した。「史上最大の作戦」と呼ばれた移築事業は、14の神殿、三つの聖堂、一つの岩窟墳墓を救った。



▲ダム建設によりナイル川の水位は平均65m上がった。アブ・シンベル大神殿は方位を変えず西へ110m、北へ64mの場所に移された。◀周囲の岩肌もクレーンによって運ばれた。

(1) ワークブック 第3章「人類の誕生と古代文明」